0. 2025年の調査について

今回も47都道府県すべてに加えて、措置の仕方を持つ政令指定都市・中核都市（12地域）の合計59地域の状況を調査しました。調査結果は裏面の一覧表または59地域のHPに公開しているお問合せ先（中核都市・政令指定都市）に問合せ先を記載しています。URLはご記載しております。

59地域それぞれでの外国人生徒等の支援をする団体や個人が調査の担当者となり、各自治体の教育委員会の担当者と連絡を取りながら、調査に当たりました。また、全国をブロックごとに分けて情報交換を企画・連携を図りました。

調査全体のまとめ役として、世話人会を担当しました。

	自治体名	調査担当者名（ひらがな）	所属
① 北海道・東北	北海道	山岸 あとり	札幌子ども日本語クラブ
	札幌市	今田 浩代	札幌子ども日本語クラブ
	青森県	弘前大学教育学部多文化リソースルーム	
	岩手県	村井 好子	いわて多文化子どもの教室 むかっこくらぶ
② 関東	茨城県	藤原 朝子	日本語を母語としない子ども親のための進路ガイダンス実行委員会
	栃木県	高橋 美帆	国際教養大学
	群馬県	○内海 由美子	山形大学学士課程基盤教育院
	埼玉県	三田 真理子	こまがた日本語教室
	千葉県	鈴木 美穂	国際交流センター「ぴあ」
	東京都	原田 恵子	多摩地区多文化ネットワーク・「日本語を母語としない子どものための進路ガイダンス」実行委員会
	神奈川県	鈴木 真一	横浜市国際交流協会
	新潟県	原 瑞穂	東京学芸大学
	長野県/川崎市/新潟市	柳田 文子	長野県NPO法人 多文化共生教育ネットワーク「ぷれいす」
③ 北陸・中部	富山県	青木 由香	NPO法人 ブックの扉
	石川県	石津 ひなた	公益財団法人 石川県国際交流協会
	福井県	中原 芳子	福井大学教育学部英語教育大学院
	山梨県	○今津 倫	甲府市立甲陵小学校
	長野県	栗林 奈子・西尾 淳	松本市子ども日本語教室ひろば
	岐阜県	渡辺 敦子	岐阜県多文化共生センター
	静岡県	小澤 祥子	静岡県立大学
	愛知県	北田 亮	愛知県立大学文学部
	三重県	田中 亜里	NPO法人 聖伝舎
	滋賀県	上村 亜恵子	滋賀県国際協会
④ 関西	京都府/京都市	伊東 淑江	特定非営利活動法人 ハンシング
	大阪府	○松本 義一	NPO法人 フィリピノ子どもの会
	兵庫県	小西 和彦・梅 裕美	公益財団法人 ひょうご国際交流協会
	奈良県	山本 紀子	奈良県立国際交流センター
	和歌山県	各 敏光	奈良県外国人教育研究会
⑤ 中国・四国	鳥取県	金田 清香	全国清香塾日本語教室
	島根県	村上 祥子・木下 香	全国学校教育研究所
	岡山県	利 日子・鶴本 義範	NPO法人 多文化ともだち交流センター
	広島県/広島市	大谷 栄子	大阪府
	山口県	中田 沙織	公益財団法人 山口県国際交流協会
	徳島県	迫垣 美枝	特定日本語教室ぴあ
	香川県	安藤 伸一	香川県立国際交流センター
	愛媛県	河野 太一	公益財団法人 愛媛県国際交流協会
	高知県	大原 薫	高知大学
	福岡県/福岡市	吉谷 武志	九州大学
⑥ 九州・沖縄	佐賀県	○早瀬 裕子	佐賀県日本語学習支援「カスタネット」
	長崎県	宮崎 智乃	ながさき子ども応援ネット
	熊本県	足立 恵理	多文化教育・福祉プロジェクト（大分人権教育ワークショップ研究会）
	大分県	宮本 茂生	NPO法人 外国ルーツの子どもと家族々ネットもと
	宮崎県	浮野 朋史	「外国につながる児童生徒を支援する九州ネットワーク」＋「宮崎県教育
	鹿児島県	中島 祥子	鹿児島大学共立大学部
	沖縄県	北田 亮	琉球大学教育学部

調査のご協力

小松 修美　静岡県国際交流協会
鈴木 涼　長野県中国帰国者支援・交流センター

東京外国語大学 多言語多文化共生センター
NPO法人 多言語多文化共生教育ネットワーク「ぷれいす」
（各自治体からの調査結果公開、本報告書の編集、調査のまとめ役）

6. 外国（人）学校について

今回の調査では、1. 各種学校の認可を得た外国（人）学校の中等部の卒業者について　及び　2.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国（人）学校の中等部の卒業者について　の2つに分けて「一般の受験資格とは別に高校受験者を認めているか否か」を回答していただきました。

外国（人）学校とは…

インターナショナルスクールとひび校学校の総称として、またひび校につながりがあり、外国の言葉で教育をする学校を示します。

かつて朝鮮人学校と呼ばれたものが今日では朝鮮学校と呼ばれ、「○○人学校」と呼ばれるその他の学校も、韓事または「フランス学校、ブラジル学校、ドイツ学校…など」と呼んでいることにならうこともいいかもです。海外の日本人学校の例にあるように、特に国籍による入学制限を設けている場合は、個別に「○○人学校」と表記されるべきでしょうが、日本国内の外国学校でそのような例は見当たりませんでした。

認めている主な理由の回答

（回答数の最多と判断したものを赤で表示。「中等部」は「中高一貫校」を含む。「各種学校」は「法」（学校教育法施行規則）は「規則」と略。）

- 「法」第１条に定められている学校ではないが、（愛知県、名古屋市）
- 日本国内の外国人学校は大学受験資格として判断しているため。（鹿児島）
- 「法」「規」両方に定められている学校ではないが、（愛知県）
- 「法」「規」両方に定められている学校。（大阪府）
- 学校教育法第１条に定められている学校。（東京都）
- 外国籍を有する者（東京都）
- 文部科学省の「外国人学校一覧」（神奈川）
- 外国籍を有する者（福岡県）
- 文部科学省「外国人学校一覧」に掲載されている。（千葉県）
- 学校教育法第１条に定められている。（埼玉県）
- 外国籍を有する者（東京都）
- 学校教育法第１条に定められている。学校教育法第１条に定められている。（千葉県）
- 学校教育法第１条に定められている。（埼玉県）
- 学校教育法第１条に定められている。（千葉県）
- 学校教育法第１条に定められている。（千葉県）
- 学校教育法第１条に定められている。（千

1．2026年度入学者選抜における「措置」や「枠」の地域別の設置状況

まず、Aの欄に、2025年度の文部科学省学校基本調査による都道府県ごとの国公立中学校・高校における「外国人生徒の在籍数」及び「中学／高校の割合」を掲載しました。私立高校の在籍数も掲載しました。私立高校は留学生の数が多い地域もあります。A~Cは、全日制高校の外国人生徒、中国・サハリン帰国生徒、海外帰国生徒、それぞれの「措置」や「枠」が設けられているか、またその内容について表にまとめました。表中の　○…有、×…無、△…その他　を示します。定時制高校については、全日制との比較において措置と枠の設置状況をまとめました。

ブロック	番号	自治体名	A 2025外国人中学・高校生の在籍数（文部科学省学校基本調査・旧報告書未掲載集計）				Ⅰ．2026入学選抜全日制高校について													Ⅱ．2026入学選抜定時制高校について
							A.外国人生徒								B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		全日制との比較・特徴など 枠のあるところは （学校数、定員、条件、内容、合格者数等）
			中学国公立	高校国公立	国公立の高校／中学の割合	私立高校	措置	条件年数	国籍要件	内容	枠	条件年数	国籍要件	試験内容	校数・定員	定員の確保	前年度合格者数／受験者数	措置	枠	措置	枠	
①北海道・東北	1	北海道	234	67	29%	98	△	なし	なし	個々の状況に応じて協議	×							△	×	△	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	2	青森県	26	16	62%	19	△	なし	なし	申告により配慮事項を決定	×							△	×	△	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	3	岩手県	32	10	31%	7	○	3年未満	なし	個別に対応	×							△	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	4	宮城県	141	28	20%	177	○	なし	なし	教科数減、時間延長	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	5	秋田県	26	5	19%	3	○	3年未満	外国籍生徒	事前面接・作文実施の上、時間延長等の配慮	×							×	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	6	山形県	46	2	4%	26	△	なし	なし	個別判断	×							△	×	△	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	7	福島県	80	38	48%	14	○	なし	なし	別室、拡大鏡の使用、検査問題の拡大、ルビ振り、時間延長等	○定員外	6年以内	なし	英語又は日本語の作文と面接、基礎学力検査を実施することもある	7校 若干名	×	ABC合算で9/13	○	○定員外	○	○定員外	措置:全日制と同じ　枠:なし
②関東	8	茨城県	1,240	816	66%	294	○	3年以内	外国籍生徒	教科減（英国数）(全校でルビ振りを実施)	○定員内	3年以内	外国籍生徒	英国数＋面接	全校2名以上 （重点校6校は各40名）	○	112/130	△	△定員内	○	○定員内	措置:全日制と同じ。枠:すべての県立定時制高校13校に枠 （定員内、各校2名以上、条件・内容は全日制と同じ。D:6名/7名）
	9	栃木県	653	131	20%	78	○	3年以内	なし	ルビ振り、国数英、作文・面接	×							△	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	10	群馬県	1,318	633	48%	155	○	6年以内	なし	科目減（数学・英語）＋作文、面接	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	11	埼玉県	3,580	569	16%	250	×				○定員内	通算3年以内	外国籍生徒	学力検査（数・英）及び面接	12校 90名以内	×	40/67	×	○定員内	×	○定員内	措置・枠ともなし
	12	千葉県	2,576	470	18%	385	○	3年以内	日本語指導が必要な者	ルビ振り	○定員内	3年以内	外国籍生徒	面接及び作文（面接は日本語（必要に応じて英語）、作文は日本語又は英語を選択）	16校 おおむね91名	×	64/131	○	○定員内	○	○定員内	措置:全日制と同じ。枠DEのみ:すべての県立夜間定時制16校で特別枠 （定員内、D:おおむね78名以内、E:若干名、面接・作文、D:27名/29名）
	13	東京都	5,766	1,895	33%	1,635	○	①6年以内 ②3年以内	なし	①②ともルビ振り ②は辞書持込み・時間延長	○定員外	3年以内	なし	作文及び面接（言語は、日本語又は英語のどちらかを選択）	(4月入学)　8校 165名	○	158/387	○	○定員外	○	○定員外	措置:全日制と同じ 枠Dのみ:4校で実施（定員外、各校20名、条件・内容は全日制と同じ。D:68名/84名）
	14	神奈川県	3,348	1,712	51%	256	○	6年以内	なし	ルビ振り、時間延長、わかりやすい日本語での面接	○定員外	通算6年以内 就学前除く	外国籍か日本国籍を取って6年以内	英・国・数、面接	14校 169名	○	140/179	○	△定員外	×	○定員外	措置:全日制と同じ。枠DE:2部制（午前・午後）定時制2校で特別枠 （定員外、60名、国数英と面接、D:34名/42名）
③北陸・中信越	15	新潟県	115	19	17%	120	×				△定員外	海外2年以上、入国が2年以内	なし	日本語による作文、数学、英語、個人面接（学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる）	全校 若干名	×	ABC合算で3/4	×	△定員外	×	○定員外	措置:なし。枠:条件は全日制と同じ。すべての県立高校定時制9校に特別枠 （定員外、各校若干名、数英・作文面接）
	16	富山県	314	41	13%	95	○	6年以内	外国籍生徒	ルビ振り	×							△	×	○	定員内	措置:全日制と同じ（但し、海外帰国を除く）　枠:なし
	17	石川県	112	53	47%	72	○	3年未満	なし	ルビ振り	○定員外	3年未満	なし	面接と作文	7校 若干名	×	4/4	×	×	○	定員内	措置:全日制と同じ。枠:条件は全日制と同じ。すべての県立高校定時制6校に特別枠 （定員外、各校若干名、面接・作文、D:2名/2名）
	18	福井県	150	101	67%	16	○	2年以内	なし	国数英・面接	○定員内	なし	なし	英語、数学、面接	2校 23人程度	○	15/15	○	○定員内	○	定員内	措置:全日制と同じ　枠:なし
	19	山梨県	273	89	33%	264	×				○定員外	7年以内	外国籍生徒	5教科から3教科（2教科の高校もある）を選択＋面接	全校 各校学級数の人数	○	9/10	×	○定員外	×	○定員外	措置:なし。枠:すべての県立定時制高校7校に枠（定員外、1学年の学級数まで、 自己選択した3教科あるいは2教科受検・面接、DE:0名 F:1名/2名）
	20	長野県	485	282	58%	229	○	3年以内	なし	時間延長、ルビ振り 国・社を作文・面接で代替	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
④東海	21	岐阜県	1,215	428	35%	107	○	6年以内	なし	ルビ振り	○定員外	3年以内	外国籍生徒	国・数・英・面接及び小論文 外国人生徒向けの学力検査実施校もあり	全校 各校3名程度	×	15/16	△	△定員外	○	○定員外	措置:全日制と同じ　枠:なし
	22	静岡県	2,152	745	35%	435	△	6年以内	なし	ルビ振り	○定員内	3年以内	外国籍生徒	面接、日本語基礎力検査（基礎的な学力を測る問題を含む）	9校 若干名	×	18/20	×	×	×	○定員内	措置:Oのみあり。全日制と同じ　枠:なし
	23	愛知県	5,782	1,476	26%	564	×				○定員内	6年以内	なし	国・数・外（英語）の基礎的な学力検査（ルビ振り）及び個人面接	12校 5%以上として、高等学校長が定める	無回答	AB合算で 91/124	×	○定員内	×	○定員内	措置:DEの外国人生徒対象(6年以内、基礎学力検査(国数英、ルビ)、面接)　枠:なし
	24	三重県	1,226	747	61%	57	○	6年以内	外国籍生徒	後期選抜で作文・面接 3教科又は基礎学力検査	○定員内	6年以内	外国籍生徒	前期選抜は、面接か「自己表現」、作文か小論文、実技検査と学力検査 後期選抜は作文・面接・学力検査	20校・各校前期後期3名以内、一部高校は別定員	○	合格者のみ公表 全日制・定時制合計で37名	△	△定員内	○	○定員内	措置:全日制と同じ。枠:意思定時制2校（北星・みえ夢学園）と全夜間定時制（定員内、6年以内、 人数で試験内容は調査票に、全日と合計37名）
⑤近畿	25	滋賀県	606	114	19%	4	○	6年以内	なし	時間延長、ルビ振り、辞書2冊まで持ち込み可	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	26	京都府	360	198	55%	168	○	6年以内	なし	時間延長、ルビ振り	×							○	○定員内	○	定員内	措置:全日制と同じ。枠:Eの中国帰国者のみあり。2校（扇羽・東舞鶴浮島分校、定員内、小4以降編入、各校5名以内、国数英面接、0名/0名）
	27	大阪府	3,111	1,125	36%	597	○	小1以降	なし	時間延長、ルビ振り、辞書持ち込み可、他	○定員内	小4以降編入	なし	数学、英語、作文※ ※日本語以外の使用を認める	7校 112名	○	125/150	○	○定員内	○	定員内	措置:全日制と同じ。枠:DE1校（大阪わかば高校・多部制定時制、定員内、小4以降に編入、数学・ 英語・作文※日本語以外も可、募集20名、DE:40名/41名）
	28	兵庫県	1,038	518	50%	349	○	なし	なし	時間延長、問題文の拡大、別室受検	○定員外	3年以内	外国籍生徒	国語・数学・英語（ルビ振り）、国語は基礎的な日本語能力を問う問題、面接	6校 18名	○	18/28	○	×	○	○	措置:全日制と同じ　枠:なし
	29	奈良県	110	54	49%	54	×				○定員外	小4以降編入	なし	英語、数学、作文 ※問題文の漢字にルビ	3校 若干名	×	8/8	×	○定員外	×	○定員外	措置・枠ともなし
	30	和歌山県	42	13	31%	7	○	なし	なし	時間延長、ルビ振り、辞書持ち込み可、他	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
⑥中国・四国	31	鳥取県	27	10	37%	18	○	3年以内	なし	時間延長、ルビ、辞書持ち込み、3教科(国数英)	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	32	島根県	74	24	32%	21	○	6年以内	なし	時間延長、ルビ振り、科目減	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	33	岡山県	181	38	21%	123	○	記載なし	なし	ルビ振り	×							○	×	○	○定員内	措置:△個別日本語能力等の状況や希望する特別な配慮の内容を踏まえての個別対応 （問題用紙及び解答用紙の漢字のルビ振り） 枠:なし
	34	広島県	507	328	65%	133	○	6年以内	外国籍生徒	国数英、作文、面接、ルビ振り、問題文の拡大	○定員外	6年以内	外国籍生徒	国数英、作文、面接、ルビ振り、問題文の拡大	全校 各校2名以内	×	非公開	○	○定員外	○	○定員外	措置:Oのみあり（全日制と同じ）　枠なし
	35	山口県	30	9	30%	19	○	6年以内	外国人生徒	時間延長、ルビ振り	×							△	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	36	徳島県	22	9	41%	1	○	なし	なし	時間延長、ルビ振り、問題文の拡大、他	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	37	香川県	103	21	20%	38	○	3年以内	外国籍生徒	ルビ振り等を個別判断	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	38	愛媛県	71	24	34%	10	○	5年以内	なし	内容は、その都度関係機関と協議し決定	×							○	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
	39	高知県	15	0	0%	279	△	記載なし	なし	記載なし	×							△	×	△	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
⑦九州・沖縄	40	福岡県	707	54	8%	248	○	小4以降	なし	時間延長、ルビ振り	○定員内	小4以降編入	なし	国語、数学、外国語（英語）の特別の学力検査、作文及び面接	19校 各校の定員内	×	記載なし	○	○定員内	○	○定員内	措置:全日制と同じ。枠:4校(定員内、小4以降、学力検査時間の延長。国語は25分、他の教科は 15分-ルビ振り学力検査問題を用意する、合格者等記載なし)
	41	佐賀県	31	2	6%	17	○	6年以内	なし	時間延長、ルビ振り、3教科受検	○定員内	3年未満	なし	作文（日本語）、外国語（英語）、数学	1校 若干名	×	記載なし	○	○定員内	○	○定員内	措置:全日制と同じ　枠:なし
	42	長崎県	47	9	19%	43	×				○定員外	3年未満	なし	日本語又は外国語（英語又は中国語）による作文及び面接を実施	全校 若干名	×	4名	×	○定員外	×	○定員外	措置:なし。枠:全10校（定員外、若干名、3年未満、作文（日本語又は英語か中国語）、 面接、合格者等記載なし）
	43	熊本県	94	15	16%	27	○	なし	外国籍生徒	時間延長等	○定員内	小4以降編入	外国籍生徒	5教科の中から志願者があらかじめ選択した3教科の学力検査と、 作文及び面接	全校 若干名	×	公表していない	○	○定員内	○	○定員内	措置:全日制と同じ。枠:すべての県立高校 （定員内、若干名、小4以降、科目減、作文、面接、合格者等記載なし）
	44	大分県	48	17	35%	151	○	なし	協議による （ルビ振り、時間延長等）	英語による面接及び小論文	○定員外	6年未満	なし	英語による面接及び小論文	1校 若干名	×	1/1	○	○定員外	○	○定員外	措置:全日制と同じ　枠:なし
	45	宮崎県	31	9	29%	107	○	6年以内	なし	ルビ振り、日本語か英語による適性検査	○定員外	6年以内	なし	推薦入学者選抜と同内容	全34校 若干名	×	記載なし	○	○定員外	○	○定員外	措置:全日制と同じ。枠:全ての県立高校（定員外、若干名、条件等は全日制と同じ。D:2名/2名）
	46	鹿児島県	28	3	11%	20	○	中学以降	なし	時間延長、ルビ振り	○定員内	海外に3年以上入国が3年以内	なし	面接と作文	67校 若干名	×	記載なし	○	○定員内	○	○定員外	措置:全日制と同じ。枠:全2校（開陽・奄美、定員内、若干名、3年以内、作文、面接、合格者等記載なし）
	47	沖縄県	132	73	55%	34	△	要項に記載なし	なし	時間延長、ルビ振り、面接時の配慮	×							△	×	○	×	措置:全日制と同じ　枠:なし
措置や特別枠のある政令指定都市・中核都市	1	札幌市					×				×							×	×	×	○定員内	措置:なし。枠:札幌大通高校1校（DEFで定員内5名程度、DE は5年未満、面接・作文、DEFで5名/9名）
	2	仙台市					○	なし	なし	教科数減、時間延長	×							○	×	○	定員内	措置:全日制と同じ　枠:なし
	3	さいたま市					×				×							×	○定員内	×	○定員内	定時制高校なし
	4	川崎市					○	6年以内	なし	ルビ振り、時間延長、わかりやすい日本語での面接	×							○	×	×	○定員内	措置:全日制と同じ。枠DE:市立川崎高校定時制1校で特別枠（定員外、8名、国数英と面接、D:7名/7名）
	5	横浜市					○	6年以内	なし	ルビ振り、時間延長、わかりやすい日本語での面接	○定員外	通算６年以内 就学前除く	外国籍か日本国籍を取って６年以内	英・国・数、面接	2校 10名	○	10/18	○	△定員外	×	○定員内	措置:全日制と同じ。枠DE:横浜総合高校定時制1校の夜間で特別枠 （定員外、10名、国数英と面接、DE:10名/17名）
	6	名古屋市					×				×							×	×	×	○定員内	措置：DE の外国人生徒対象（６年以内、基礎学力検査（国数英、ルビ）、 面接、DE:22名/22名）　枠：なし
	7	京都市					○	３年以内	なし	時間延長、ルビ振り	×							○	×	○	×	措置：全日制と同じ　枠：なし
	8	神戸市					○	なし	なし	時間延長、問題文の拡大、別室受検	○定員外	３年以内	外国籍生徒	国語・数学・英語（ルビ振り）、国語は基礎的な日本語能力を問う問題、面接	1校 3名	○	3/5	○	×	○	×	措置：全日制と同じ　枠：なし
	9	岡山市					△	２年以内	なし	個別判断	×							△	×	△	×	定時制高校なし
	10	広島市					○	6年以内	外国籍生徒	国数英、作文、面接、ルビ振り、問題文の拡大	○定員外	６年以内	外国籍生徒	国数英、作文、面接、ルビ振り、問題文の拡大	全校 各校２名以内	×	非公開	○	○定員外	○	○定員外	措置：Dのみあり（全日制と同じ）　枠：なし
	11	福岡市					○	小４以降	なし	時間延長、ルビ振り	○定員内	小４以降編入	なし	国語・数学・外国語（英語）の特別の学力検査、作文、面接	1校 定員内	×	記載なし	×	×	○	○定員内	定時制高校なし
	12	熊本市					○	なし	外国籍生徒	時間延長等	○定員内	小４以降編入	外国籍生徒	５教科の中から志願者があらかじめ選択した３教科の学力検査と、 作文及び面接	全校 若干名	×	１/２	○	○定員内	○	○定員内	定時制高校なし

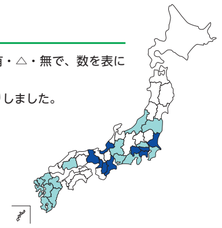
2．地域別の「措置」と「枠」の比較について

全日制高校と定時制高校に分けて、枠と措置がそれぞれ、有・△・無で、数を表にまとめました。

地図は、外国人生徒対象の枠が有と回答した都道府県を色塗りしました。

「水色」枠がある（但し定数確保無）20地域
福島県、埼玉県、千葉県、新潟県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、奈良県、広島県、
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、広島市、福岡市、熊本市

「濃い青」枠があるかつ定数確保有10地域
茨城県、東京都、神奈川県、福井県、山梨県、三重県、大阪府、兵庫県、横浜市、神戸市



		全日制高校						定時制高校					
		A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
		措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠	措置	枠
都道府県 47	有	35	24	26	18	35	27	36	13	27	9	35	11
	△	6	1	12	5	4	0	6	1	12	4	4	0
	無	6	22	9	24	8	20	5	33	8	34	8	36
政令指定都市等 12地区 定時制は８地区	有	8	5	7	3	6	6	6	3	6	1	4	1
	△	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0
	無	3	7	4	8	5	6	2	5	2	5	4	7

3．ダイレクト受験の状況

ダイレクト受験とは、海外の中学校（相当）を卒業してから来日し、日本の中学を経ないで高校を受験する場合を指します。

質問項目：2025年度の入試について、直接来日後の外国籍の受験者（外国において、学校教育における９年の課程を修了した者）の有無

ダイレクト受験が有「O」と答えた19地域
青森県、宮城県、群馬県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、大阪府、岡山県、香川県、大分県、宮崎県、鹿児島県、札幌市、仙台市

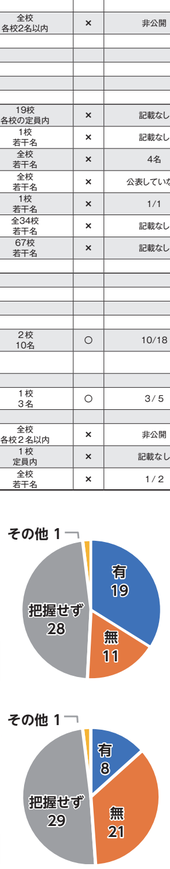
4．ダイレクト高校編入の状況

ダイレクト編入とは、高校（相当）の学年途中で来日し、直接日本の高校に編入する場合です。

来日後、日本語学校や夜間中学などを経由する場合もあります。

質問項目：2024年度中に、直接来日後による編入学者の有無

高校の編入が有「O」と答えた８地域
茨城県、神奈川県、福井県、長野県、愛知県、三重県、大阪府、徳島県



支援の内容
A.教育課程に位置づけられた日本語授業（特別の教育課程、学校設定科目、
　個別対応授業など単位として認定されるもの）の実施
B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
C.母語（継承語）保持のための授業の実施
D.担当教員の加配
E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
F.母語（継承語）の支援のための講師や支援者の雇用
G.その他外部支援者（コーディネーターなど）の雇用
H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育（出口支援）

5．高校入学後の支援の状況

自治体で、高校入学後の支援が制度として、有るか無いか「有無」とその支援の内容をまとめました。内容は下の項目を参照。

ブロック	番号	自治体名	Ⅳ．高校入学後の状況（支援）											支援項目の○の数	特別の教育課程	特別の教育課程実施内容	特別の教育課程次年度の検討
			有無	A	B	C	D	E	F	G	H	その他	補足事項				
①北海道・東北	1	北海道	○	○				○				○	16校で実施【その他の施策】日本語指導有識者による日本語指導担当教員を対象とした市町村・学校への訪問指導、web会議システムを活用した相談支援、日本語指導担当教員の資質向上に向けた教員研修、指導資料の作成、携帯型通訳デバイスの貸出等	3	○	7校で実施	
	2	青森県	○	○	○			○		○	○	○	多文化スーパーバイザー及び日本語支援員の配置校4校 うち、学校設定科目実施校3校【その他の施策】AOMORI多文化共生推進事業により、NPO法人ひろがい多文化リソースルームと連携し、多文化スーパーバイザー、日本語支援員を、日本語指導が必要な生徒のいる学校に配置している。青森県の小・中・高等学校を対象に、年2回、日本語指導が必要な児童生徒担当教員等連絡協議会を開催している。【補足事項】E C Gについては、雇用ではなく謝金対応である。	6	×		無
	3	岩手県	×											0	×		無
	4	宮城県	○	○			○						A：2校、D：1校	2	×		無
	5	秋田県	×											0	×		無
	6	山形県	×											0	回答なし		無
	7	福島県	○	○	○		○							3	×		回答なし
②関東	8	茨城県	○	○	○			○	○	○	○	○	A・B：3校、D：4校、E・F・G・H：7校 【補足事項】重点校2校及び支援校5校で実施	7	○	2校・県立結城第一高等学校、結城第二高等学校	
	9	栃木県	○	○	○			○					（令和7年12月現在）配置・訪問指導校　計10校	3	×		有
	10	群馬県	○	○	○	○	○	○					A～D　1校、E　9校 【その他の施策】【外国人児童生徒等教育・心理サポート事業】によりフレックススクール1校において、日本語学習及び基本的な学習のサポートをNPO法人に委託している。 【補足事項】多言語通訳機の貸与　11校15台	6	○	1校　県立本田フレックス高等学校	
	11	埼玉県	○	○	○			○				○	【日本語支援員】を全日制34校、定時制16校に配置（2025年度） 【その他の施策】【日本語支援員】を配置し、言語に起因する学校生活の問題の解決を図り、安心して学習できる環境を整備している。	4	×		無（現在各学校にて検討中の段階のため、未定）
③関東	12	千葉県	○	○	○	○		○	○	○	○	○	A は5校、B は各学校の判断で実施、EF は外国人児童生徒等教育相談員のべ106名を51校に配置、G は相談員支援コーディネーターを拠点校3校に3名配置。 【その他の施策】外国人特別入学者選抜実施校4、額訳機器等の学習機器、オンラインによる日本語初期指導の実施、初期指導体制構築のための実態把握調査、授業における翻訳アプリの効果検証、外国人児童生徒等教育相談統括マネージャーの配置 【補足事項】上記以外に、特別支援学校10校にのべ20名の外国人児童生徒等相談員を配置	7	○	5校　八千代東高校、松戸国際高校、市川工業高校（定）、匝瑳高校（定）、鴨川総合高校（定）	
	13	東京都	○	○	○		○	○		○	○	○	A・B は在京都校と日本語指導が必要な生徒が多数在籍する高校、D 担当教員の加配は在京都の11校、G.「多文化共生センターサポートセンター事業」として東京都教育支援機構（TEPRO）に委託。E は日本語指導が必要な生徒が在籍する高校に配置。校は数校で実施。【その他の施策】帰国・国際子女関日本語講座（都立高校新入生対象に5時間×7回）【補足事項】A～H については都の回答ではなく、調査担当者が把握している情報を基に記入。	7	○	記載なし	無（教育課程編成権は、校長にあるため。）
	14	神奈川	○	○	○		○	○		○	○	○	在県外国人等特別募集を行っている高校（2025年度は15校）においては、上記の取組のほぼすべてを実施。特別募集以外では、日本語指導が必要な生徒の在籍している高校（約10校）において実施しているが、取り組み内容は各高校によって異なる。【その他の施策】調査票参照	7	×		無
④東海	15	新潟県	○					○			○	○	令和7年度は、E、その他の施策ともに、8校【その他の施策】日本語指導を必要とする帰国・外国人生徒の支援に関する研修の実施（日本語指導が必要な生徒が在籍している県立高等学校の管理職または教諭）	2	×		無
	16	富山県	○									○	県立の定時制高校4校（新川みどり野高校、雄神高校、志貴野高校、とみな野高校）【その他の施策】日本語の対応が難しい外国人生徒や保護者との面談等において利用する双方向通訳機を1台ずつ配備している。	1	×		無
	17	石川県	○	○				○					概ね7校程度で実施【その他の施策】例えば、学校によっては外国語を話せる方に非常勤としてきて頂き、授業や補習などのサポートをしてもらっている。	3	○	1校　小松北高校（昼間制）	
	18	福井県	○	○	○				○				特別募集枠2校および、定時制1校で実施。 ただし、A は特別募集枠2校と定時制1校で実施。	3	○	1校　武生高校定時制課程	
	19	山梨県	○	○	○			○			○			4	○	1校（笛吹高校） ※中央高校は、学校設定科目で指導・単位認定をしている	
	20	長野県	○					○						1	回答なし		回答なし
④東海	21	岐阜県	○	○	○		○	○		○	○			6	×		有（詳細は調査票参照）
	22	静岡県	○					○				○	外国語が堪能な地域人材を活用し、放課後等に日本語指導やキャリアプラン支援等を実施。全日制13校及び定時制16校で実施（外国人生徒選抜を実施している一部の学校を含む）。	1	×		無
	23	愛知県	○	○	○	○	○	○	○		○	○	A：8校　B：全日制課程19校、定時制課程23校　C：1校　D：11校　E：12校　F：全日制課程30校、定時制課程27校　H：就労支援アドバイザーが全ての定時制通信制課程を巡回指導【その他の施策】多言語対応の小型通訳機を設置（詳細は調査票参照）	8	○	実施校数：3校 城北つばさ、御津あおば、知立	
	24	三重県	○	○	○		○	○		○	○	○	日本語指導が必要な外国人生徒が多数在籍する学校を中心とした数校で実施【その他の施策】【日本語指導担当者研修】及び【日本語学習動画の作成】を委託事業として実施	7	×		無
⑤近畿	25	滋賀県	○					○				○	①必要に応じて申請 ②13校【その他の施策】①ハートフル支援事業（保護者会等での通訳を派遣する）②日本語指導システム構築事業（日本語指導講師の派遣費用の支援等）	2	×		無
	26	京都府	×											0	回答なし		無
	27	大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別枠選抜実施校8校を含む日本語指導が必要な生徒が在籍する47校において、それぞれの状況に応じて実施している。【その他の施策】特別枠選抜実施校に在籍していない生徒でも、希望があれば放課後にオンラインで日本語能力試験対策の日本語指導をしている。	9	○	3校（大阪わかば、布施北、桃谷（定時制））	
	28	兵庫県	○	○	○		○	○			○	○	外国人生徒にかかわる特別枠選抜実施校（6校） 【その他の施策】外部支援者（コーディネーターなど）との連携、保護者に対する翻訳等の支援	6	○	非公開	
	29	奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10校【その他の施策】県教委による母語通訳者派遣事業（保護者懇談・家庭訪問・合格者説明会など）	9	×		回答なし
	30	和歌山県	○				○						県立11校	1	回答なし		無
⑥中国・四国	31	鳥取県	×											0	×		回答なし（検討をしている学校はある。）
	32	島根県	○	○	○		○	○	○				定時制1校で実施 【補足事項】令和3年度より、島根県立宍道高等学校（定時制課程）において、学校設定科目を設置。日本語理解Ⅰ Ⅱ（詳細は調査票参照）	5	×		無
	33	岡山県	×											0	回答なし		無
	34	広島県	○	○	○			○				○	13校【その他の施策】音声翻訳機の貸し出し	4	○	3校	
	35	山口県	○		○		○						4校	2	×		有（すべての県立高等学校において、教育課程に日本語指導を位置づけており、該当する者がいれば実施する。）
	36	徳島県	○				○	○				○	全日制3校（生徒3名）で実施。【その他の施策】年間33回を上限として、日本語支援を希望する生徒に対して県が日本語支援員を派遣している。（施策の名称【帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業】による日本語支援員の派遣）	3	×		無
	37	香川県	○		○								全ての県立高校（29校）で実施	1	×		無
	38	愛媛県	○		○								